

2021年度東大和市地域ケア全体会議

南街・桜が丘地域防災協議会
2021年12月04日

コロナ禍で中断されていた「東大和市地域ケア全体会議」が12月04日に中央公民館ホール及び東大和市役所会議棟にて関係者約130名が集まり下記議事次第に従い開催されました。参加者はグループ分けされ、それぞれのグループに与えられたテーマに従い議論を行い、その結果を各グループの代表者がそのグループのワーク内容の発表を行いました。今後東大和市として行政機関、関連団体、地域が一体として「地域ケア」として何をすべきか、何が出来るかを考えさせられる有意義な会議でした。

尚会議はオンラインを使用して開催されました。

令和3年度 東大和市地域ケア全体会議 次第		
日時：令和3年12月4日（土） 午後2時～ 場所：東大和市中心公民館ホール 東大和市会議棟		
1. 開会		(14:00)
2. 挨拶	オンライン	
3. 概要説明	オンライン	(14:05)
4. 各関係機関の活動状況説明	オンライン	(14:20)
5. グループワーク	対面	(15:00)
テーマ 地域のネットワークづくり ～点を線にするシステムづくり～		
〈休憩〉		(15:50)
6. 発表（各グループ3分）	オンライン	(16:00)
7. 総括	オンライン	(16:45)
8. アンケート記入		(16:50)
9. 閉会		(16:55)

参考添付資料；以下によります。

- 会議で使用したレジメ；P2～P5
- 会議開催通知；P6

令和3年度地域ケア全体会

・テーマ

地域のネットワークづくり
～点を線にするシステムづくり～

地域包括ケアシステム と 地域ケア会議

地域包括ケアシステムが必要となる背景

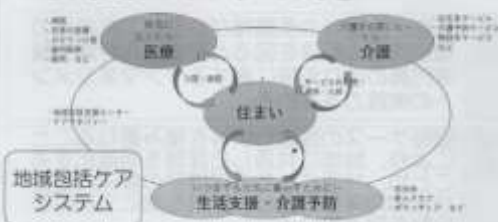
1. 少子高齢化
2. 要介護（支援）認定者の増加
3. 認知及び高齢者夫婦世帯の増加
4. 認知症高齢者数の増加
5. 介護の担い手不足
6. 生活困窮・貧困の者の増加
7. 年間死に者数の増加

地域包括ケアシステムとは①

高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるその人らしい生活を継続できるよう、介護保険制度によるサービスや多様な社会資源を本人が活用できるようにするため、包括的及び継続的に支援すること

地域包括ケア

地域包括ケアシステムとは②



地域ケア会議とは①

地域包括ケアシステム構築の実現に向けた手法の一つである。

地域包括ケアシステムの拠点となる地域包括支援センターに持ち込まれた多様な相談や問題を、包括的に解決するための話し合いの場として制度化された。

地域ケア会議とは②

目的	医療、介護等の多職種が協働して高齢者の個別課題の解決を図るとともに、介護支援専門員の自立支援に資するケアマネジメントの実践力を高める。
役割	個別ケースの課題分析等を積み重ねることにより、地域に共通した課題を明確化することや、共通された地域課題の解決に必要な資源開発を把握し、政策形成につなげる役割を担っている。

東大和市の地域ケア会議①

以下、3つの地域ケア会議を開催しています。

- ①小地域ケア会議
- ②地区別地域ケア会議
- ③地域ケア全体会

東大和市の地域ケア会議②

①小地域ケア会議：

各ほっと支援センターが開催し、緊急性の高いケースや困難ケース、自立支援・重症化防止のケースなど、個別ケースを取り上げる会議

多職種が連携して課題の共有や、具体的な対応策を検討する。

東大和市の地域ケア会議③

②地区別地域ケア会議：

高齢者ほっと支援センターの担当地域ごとに開催する地域ケア会議
地域ごとの課題の抽出を行う。

東大和市の地域ケア会議④

③地域ケア全体会：

地区別地域ケア会議の内容から、抽出された地域の共通課題について、多職種がどのように課題解決に取り組むことができるか、具体的な方策を検討する。

東大和市の地域ケア会議⑤

地域ケア会議は、高齢者個人に対する支援の充実と、それを支える社会基盤の整備とを同時に進めていく、地域包括ケアシステムの実現に向けた手法である。

全体会のテーマ設定の経緯

小地域ケア会議にて、取り上げるケースの課題やその課題を解決するための支援方法について、様々な関係機関や地域住民の活動状況を踏まえ、検討することが求められる。

しかしながら、活動状況の動きが見えにくく、連携が困難というのが現状である。

そのため、関係機関の活動や取り組みを共有し活用できる方法等を考える。すなわち「点を線にするシステム」を検討することにより、地域のネットワークづくりにつなげることができると考え、「地域のネットワークづくり～点を線にするシステムづくり～」というテーマを設定した。

各関係機関の活動状況説明

各関係機関の活動状況説明①

高齢者見守りぼっくす

(発表：高齢者見守りぼっくすさんがい 塚原様)

- ・活動内容
- ・活動してよかったこと・成果など
- ・活動して対応に困ったことなど

東大和市 高齢者見守りぼっくす

- 高齢者見守りぼっくすは、高齢者の生活状況の把握と支援を行うため、高齢者見守り活動の専門とした組織です。
- 高齢者からの相談や生活状況の把握、生活支援と連携しながらネットワークを構築し、支援を行います。
- 東大和市が市内の高齢者に提供しています。
- ①高齢者見守り活動の推進・実施
- ②高齢者見守り活動の推進・実施
- ③高齢者見守り活動の推進・実施
- ④高齢者見守り活動の推進・実施
- ⑤高齢者見守り活動の推進・実施
- ⑥高齢者見守り活動の推進・実施
- ⑦高齢者見守り活動の推進・実施
- ⑧高齢者見守り活動の推進・実施
- ⑨高齢者見守り活動の推進・実施
- ⑩高齢者見守り活動の推進・実施

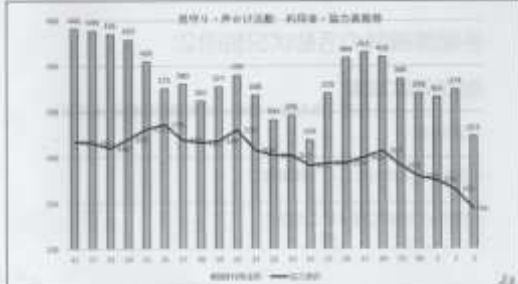


各関係機関の活動状況説明②

見守り声かけ活動

(発表：協力員 小泉様、社会福祉協議会 浅見様)

- ・活動内容
- ・活動してよかったこと・成果など
- ・活動して対応に困ったことなど



各関係機関の活動状況説明③

介護者のつどい東大和

(発表：介護者のつどい東大和 田村様)

- ・活動内容
- ・活動してよかったこと・成果など
- ・活動して対応に困ったことなど

各関係機関の活動状況説明④

・東大和市子ども・高齢者見守りネットワーク～大きな和～



各関係機関の活動状況説明①

「大きな和」朝日まごころサポート

(発表：朝日新聞 ASA大和南形 栗田様)

- ・活動内容
 - ・地域見守りサービス
 - ・ちょっとしたお困りごとのお手伝い
- ・活動してよかったこと・成果など
 - ・「あひだ」のお言葉
 - ・自筆心(後述中のお困りごと)
- ・活動して対応に困ったことなど
 - ・無事で何より…(詳細は口頭で)



各関係機関の活動状況説明⑥

「大きな和」宅配クック・ワン・ツウ・スリー

(発表：高野様)

- ・活動内容
- ・活動してよかったこと・成果など
- ・活動して対応に困ったことなど

各関係機関の活動状況説明⑦

「大きな和」大東京信用組合

(発表：東大和支店 齋藤様)

- ・活動内容
- ・活動してよかったこと・成果など
- ・活動して対応に困ったことなど

事前アンケートの結果

「大きな和」に参加したことで得られた成果(問3)

- ・異業のあった市民を支援につなげられることができた。
- ・悩みを持ち込めるようになった。
- ・事業員の知識・経験が向上した。

対応に困った事例(問4)

- ・生活トラブルがあるかのように思われ、こちらが資料を提示して問題説明しても納得せず、クレームの嵐になる。
- ・近所迷惑を減らす取り組みが難しい。
- ・地域性から高齢者が多く認知症予備軍も多くいるように感じる。

継続課題に感じていること(問5)

- ・高齢者の取り巻く「認知症」のリスクがわからず、先手を打つためにどうすればいいか。
- ・認知症に悩む高齢者は見受けられるが、世間、高齢者など意識せず、支援につながらないことがある。

グループワークの注意事項

1. まず自己紹介してください。
2. グループワークは15:50までとします。15:50から16:00の間を食卓準備・トイレ休憩の時間とします。各グループからの発表は16:00から予定しており、各グループの持ち時間は3分です。食の円滑な進行にご協力をお願いします。
3. 意見交換や話し合いにはたくさんの意見をいただきたいと願います。全員が発言できるように皆さんの方で配慮をお願いします。
4. 様々な意見が出ると思いますが、他の方の意見を否定しないように気を付けて下さい。
5. グループワーク中に話に出た個人情報に関わることは、裏ささないようお願いいたします。
6. 資料として、会議の様子を写真撮影させていただくこともございます。ご承諾をお願いいたします。

グループワーク 進め方

1. 自己紹介
2. グループワーク(1)高齢者支援の活動についての情報共有(～15:10)

事例のケースについての説明(事務局より)

3. グループワーク(2)地域資源で変えるにはどうしたらよいか
4. グループワーク(3)地域の取り組みやネットワークであつたらいいなと思うものや、既存の活動を連携させ、使える見解を述べていただくことについて
5. グループワーク(4)東大和市で実現するために、あなたができること(～16:00)

グループワーク 事例

事例の概要

- ・60歳の男性で、2年前に妻と死別し、現在1人暮らし。
- ・閑静な住宅街。ただし本人が歩いて行ける範囲に店や病院、バス停はない。
- ・頼れる近所者はいない。また、地域の中でのかわりが深い。
- ・認知症が原因による、認知力の低下と幻覚の症状あり。
- ・ごみを出す日を間違えるなど分別できず、室内は劣悪な環境である。
- ・生活に困らない程度の経済力があるが、詐欺に合いそうになったり、お貯金を間違えたりするなど、金銭管理ができなくなっている。
- ・地所から元障がい者1回訪問し、病院の通院介助を行っている。
- ・週3日ヘルパー、週1回訪問看護・訪問リハ、福祉用具として手すりを利用している。

16:00から各グループ
の発表を開始します。

各グループからの発表

- 1グループ約3分間
- 書記シートに沿って、発表してください。

アンケートにご協力いただきますようお願いいたします。アンケートは机の上に置いてお帰りいただきますようお願いいたします。

会議棟の方は、規制退場にご協力ください。

本日はありがとうございました。

会議棟の方は、規制退場にご協力ください。

令和3年度地域ケア全体会

テーマ：地域のネットワークづくり
～点を線にするシステムづくり～

令和3年11月2日

関係者各位

東大和市高齢者ほっと支援センターいもくぼ
東大和市高齢者ほっと支援センターきよはら
東大和市高齢者ほっと支援センターなんがい

令和3年度東大和市地域ケア全体会の開催について（出席依頼）

時下、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご指導を賜り、誠にありがとうございます。

このたび、下記内容について地域ケア全体会を開催いたしますのでご案内を申し上げます。

つきましては、日頃から高齢者の地域生活を支えてくださる皆様の貴重な意見を拝聴し、地域課題及び生活課題の解決に向けて、検討をお願いできればと考えております。

ご多忙中大変恐縮ではございますが、是非ご出席いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

記

- 1 送付資料 開催通知（本通知）
別紙1「令和3年度地域ケア全体会 申込票」
- 2 テーマ 「地域のネットワークづくり～点を線にするシステムづくり～」
- 3 内容(予定) 各関係機関において、高齢者を支援する様々な取り組みが実施されています。その活動内容や取り組み内容を共有し活用できる方法、すなわち「点を線にするシステム」を検討することにより、地域のネットワークづくりにつなげたいと考えております。
- 4 日 時 令和3年12月4日(土) 午後2時～午後5時
※受付は午後1時30分から開始します。受付場所については「9.備考」をご参照ください。
- 5 開催方法 グループワークは各部屋に分かれて対面形式で行い、各グループの発表時は、各部屋に設置したパソコンを使ってオンライン形式で実施することを想定しています。（新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、大人数が一箇所に集まらないよう配慮する予定です。）
- 6 場 所 中央公民館 ホール、市役所会議棟
- 7 定 員 80名（先着順）
※会場の都合等から、出席希望者多数の場合、調整をさせて頂く場合がございますので、予めご承知おきください。（裏面に続きます）